

[事故ゼロプラン参考資料]



事故ゼロプラン参考資料

1. 令和7年度の取り組み概要(参考資料無し)
2. 事故ゼロプランによる事故削減効果(参考資料無し)
3. 事故ゼロプランの推移(参考資料無し)
4. 対策済み区間に対する効果評価 3
5. 事故ゼロプランの新規追加区間 12
6. 事故危険区間の対策効果事例(参考資料無し)
7. 令和7年度の道路利用者意見収集の実施状況について(参考資料無し)
8. 令和8年度の事故ゼロプランの活動予定(参考資料無し)

①事故ゼロプランの概要

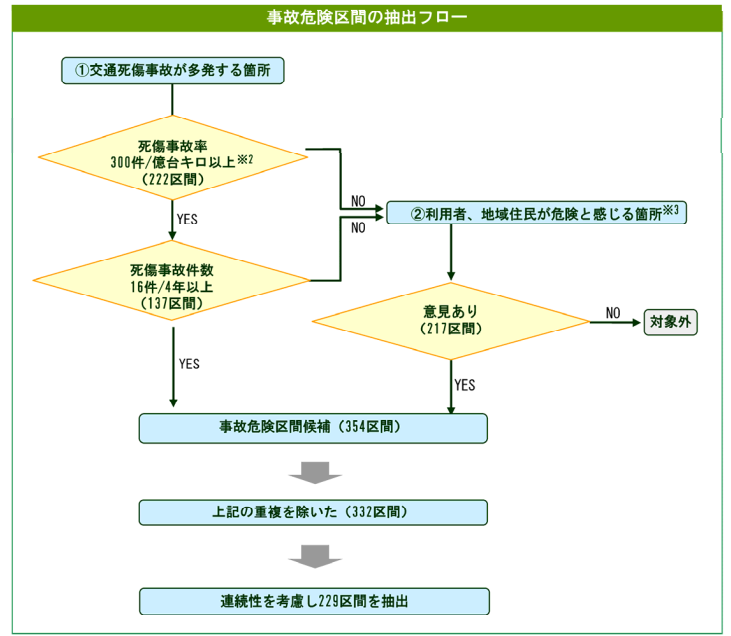
- 静岡県事故ゼロプランは平成22年度より取り組みを開始（事故危険区間として229区間を選定）。
- PDCAサイクルを念頭に順次対策を進めつつ、事故危険区間の追加・見直しを行っている。

3. 事故危険区間の選定

静岡県事故ゼロプランでは、静岡県内の国土交通省が管理する国道を対象として、交通死傷事故が多発する箇所や静岡県の交通特性を考慮して利用者、地域住民が危険と感じる箇所を事故危険区間として、静岡県道路交通環境安全推進連絡会議^{※1}を経て229区間を選定しました。

- 静岡県事故ゼロプラン 事故危険区間の選定方針
- ①交通死傷事故が多発する箇所 : 死傷事故率300件/億台キロ以上+16件/4年以上
 - ②利用者、地域住民が危険と感じる箇所 : ヒヤリハット箇所、地元意見箇所など

※1 静岡県道路交通環境安全推進連絡会議
 静岡県内の交通事故の防止を図るため、警察と道路管理者とが連携を図り、安全な道路交通環境の整備や利用者への広報を行うとともに、利用者の意見を交通安全施策に反映することを目的としています

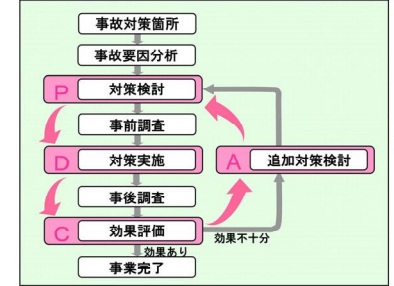


※2 死傷事故率とは
 1km区間を1億台の自動車が行ったとき、その区間内で死傷事故が発生する割合のことです。死傷事故の起こりやすさの目安となるものです。

※3 利用者、地域住民が危険と感じる箇所の選定方法
 ・地元の見解 : 沿線自治体の意見
 ・ヒヤリハット箇所 : 利用者WEBアンケート
 ・職業ドライバー「ヒヤリハット」
 ・その他 : 歩道、自転車道整備必要区間など

5. 事故対策の取り組み方針

■ 対策の進め方
 個別の選定区間に対する事故対策の取り組みは、事故データや地域住民の声、現地調査などにより事故要因を明らかにしたうえで、対策検討(P)→対策実施(D)→効果評価(C)→追加対策検討(A)の流れに沿って進めます。単に選定区間の対策を実施するだけでなく、継続的に事故発生状況をモニタリングし、必要に応じて迅速に改善を加えることで効果的に成果を上げていくことを目指します。



静岡県道路交通環境安全推進連絡会議

■ PDCAサイクル実施事例

PLAN (問題の把握と対策立案)

・課題箇所の交通事故特性、事故発生要因の把握
 ・有効な交通事故対策の立案

対策検討

課題箇所の現地状況把握
 現地調査

協議の見直し

PLAN 計画

Do (対策の実施)

・課題箇所への対策実施

●交通事故対策の実施

- ①交差点カラー舗装
- ②信号機視認性向上
- ③カラー舗装に合わせた案内標識
- ④交差点コンパクト化

Do 実行

ACTION (反映および改善の検討)

・類似箇所への対策実施の水平展開
 ・対策実施によって生じた新たな課題への対応

●対策効果の評価 (事故発生件数やアンケートなど)

カラー舗装 (ベンガラ色)、右折 (水色) 対策

●追加調査

ビデオ調査状況

右折車両動静調査

ACTION 新たな行動

CHECK (効果の検証)

・対策前後の交通挙動の比較による対策効果の検証
 ・交通事故データをを用いた対策効果の検証

●事故発生件数からの検証

●交通挙動からの検証

CHECK 評価

②事故ゼロプランにおける実施サイクル

- 交通事故を効率的かつ効果的に減少させるためには、実施した対策について効果評価を行い、評価結果を計画に反映させることで改善を図っていくことが重要である。
- 「対策済み区間に対する効果評価」を行うとともに、その結果をもとに、必要な区間について「追加対策検討」を行った。
- また、新規追加区間の抽出の考え方をうい「事故ゼロプランの新規追加区間」を選定した。

事故ゼロプラン全体 目的:管内の事故危険区間を対象に緊急対策を施して効率的に事故を削減

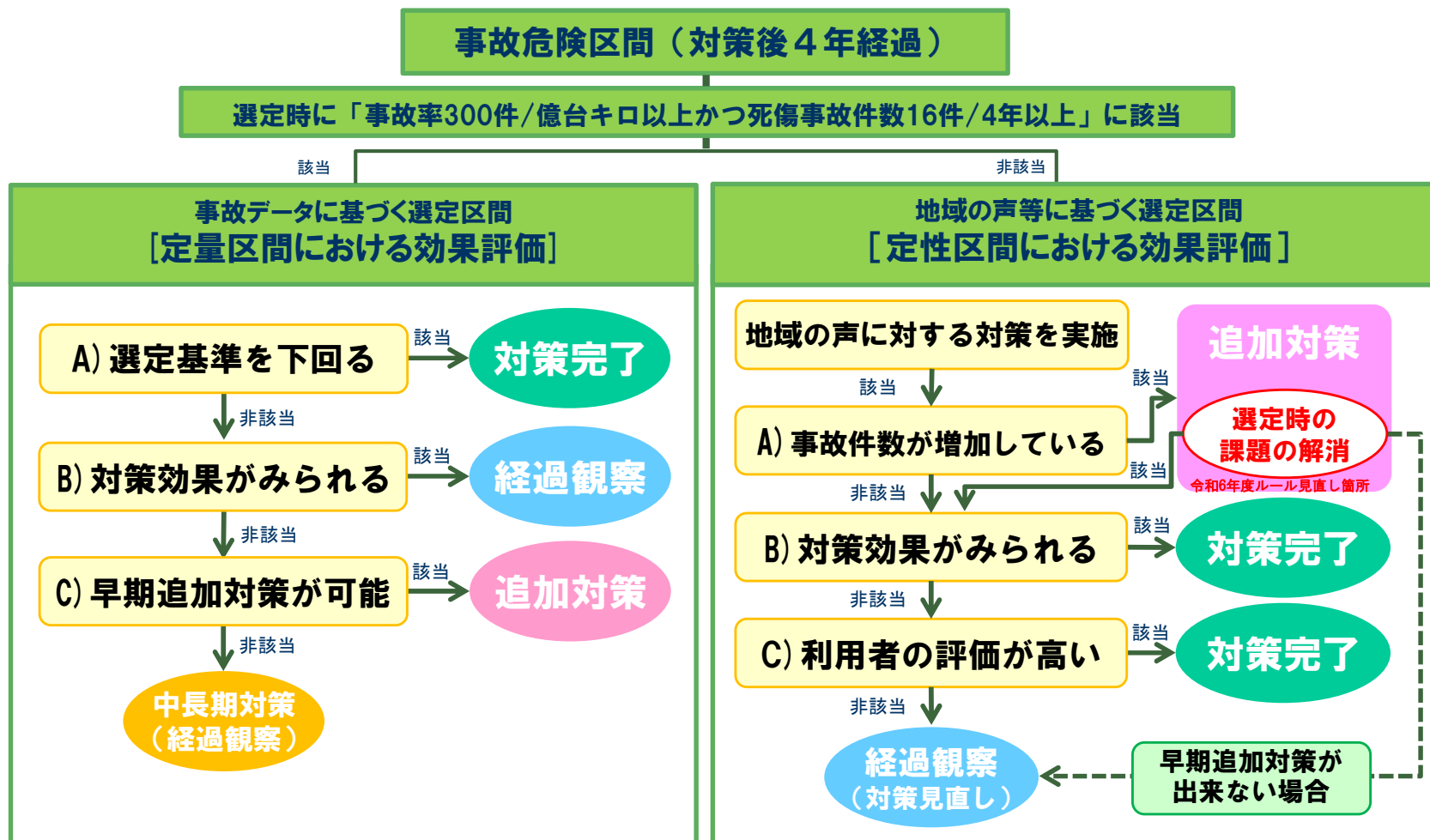


対策済み区間に対する効果評価・追加対策検討の実施

①対策済み区間に対する効果評価の考え方

- 平成28年度に決定した効果評価手法に基づき、対策済み区間に対する効果評価を実施した。
(対策済み区間のうち、個別評価が可能となる対策後4年以上の事故データが存在する区間が対象)
- 効果評価により抽出された「追加対策候補区間」に対して、追加対策の要否判断を実施した。

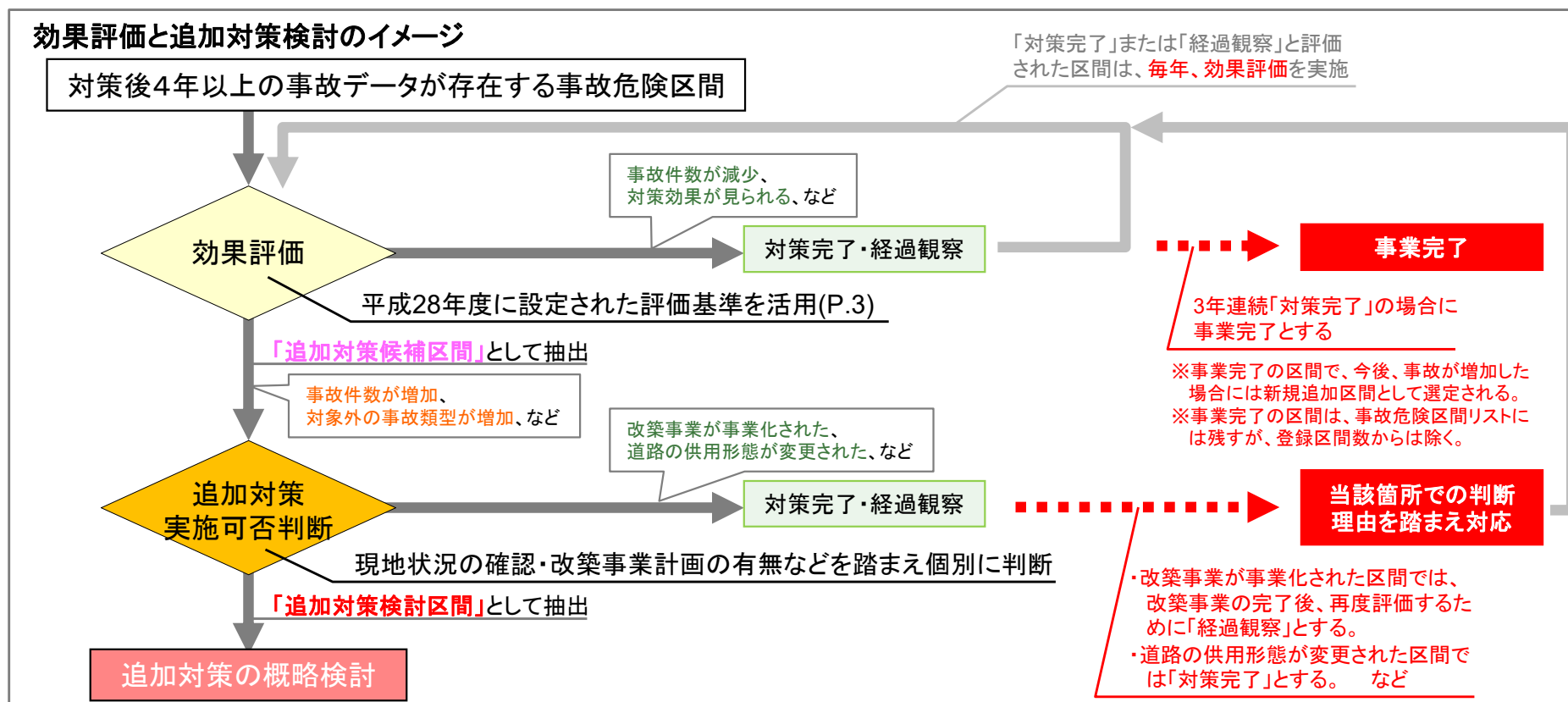
【平成28年度に決定した効果評価手法（令和6年度に一部改定）】



※事故危険区間選定時に「事故データ」「地域の声」の両基準により選定された区間については、「事故データに基づく選定区間」の評価基準を適用した。

② 「効果評価結果」による事故危険区間の取り扱い

- 対策後4年以上の事故データが存在する区間に対して、効果評価を実施し「追加対策候補区間」を抽出した。また、抽出された「追加対策候補区間」について”現地状況”や”改築事業計画の有無”を確認し、区間毎に追加対策の実施可否判断を行い「追加対策の概略検討」を行った。
- 効果評価の結果、「対策完了」または「経過観察」と評価された区間は、毎年、効果評価を実施する。また、3年連続「対策完了」と評価された場合は、事業完了とする。
- 「追加対策の実施可否判断」においては「改築事業が事業化された区間」や「供用形態が変化した区間」などの当該区間での状況を踏まえて、「経過観察」または「対策完了」と評価する。



③効果評価の結果 -事故データに基づく選定区間- (11区間)

- 事故データに基づく選定区間では、R5～R7の効果評価が3年連続「対策完了」となる区間は2区間あり、「事業完了」により事故ゼロプランから除外する。
- 残る9区間のうち7区間は「対策完了（1年目または2年目）」、2区間は「経過観察」となり、次年度も効果評価を行う。

箇所概要					効果評価				
選定理由	事務所	新区間番号	区間名	対策実施年	R4 効果評価	R5 効果評価	R6 効果評価	R7 効果評価	R7 効果評価結果
事故	静岡	22-K006285-000	富士宮市舞々木町113(登山道入口交差点)	H26	経過観察	経過観察	経過観察	経過観察	経過観察
事故	静岡	22-K006086-000	静岡市清水区中之郷3-5-40(中之郷交差点)	H28	経過観察	対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-T091999-000 22-T091896-000	富士市伝法2448～国久保3-8-16	H29		対策完了	経過観察	対策完了	対策完了(1年目)
事故	静岡	22-K006891-000	富士宮市外神2219～北山5313(外神交差点)	H30			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	静岡	22-K006141-000	静岡市葵区東瀬名町2-26(瀬名IC交差点)	H30			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	静岡	22-K004094-000	富士市錦町1丁目12-18(青島交差点)	R1				対策完了	対策完了(1年目)
事故	静岡	22-K006226-000	富士市錦町1丁目1-12(錦町交差点)	R1				対策完了	対策完了(1年目)
事故	静岡	22-K004076-000	富士市永田北町1-6(交差点名なし)	R1				対策完了	対策完了(1年目)
事故	沼津	22-K006319-000	御殿場市神山1571(兎島交差点)	H20	経過観察	経過観察	経過観察	対策完了	対策完了(1年目)
事故	浜松	22-T068322-200 22-T068560-200	島田市島880-1(大代IC)	H27	対策完了	経過観察	経過観察	経過観察	経過観察
事故	浜松	22-K005688-000	浜松市中央区飯田町271-1(交差点名なし)	H29		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了



対策済み区間に対する効果評価

③効果評価の結果 -事故データに基づく選定区間- (11区間)

「事故データに基づく選定区間」に対する効果評価

箇所概要							集計年次		死傷事故発生件数		死傷事故率		A) 事故による選定基準 ○：未達 ×：以上	B)対策効果がみられる											効果評価結果 (令和7年度)	効果評価結果 (継続評価)				
選定理由	事務所	選定時 区間番号	最新 区間番号	区間名	選定年	対策実施年	昨年度(令和6年度) の効果評価結果	事前 (選定時)	事後 (最新)	事前	事後	増減率		事前	事後	増減率	B1) 全体判定 事故件数 3割抑止 ○：3割抑止 達成 ×：3割抑止 未達成	B2) 着目事故判定 着目事故 3割抑止 ○：3割抑止 達成 ×：3割抑止 未達成			B3) 時系列判定 対策後3・4年後の 事故が対策前未満 ○：対策前未満 ×：対策前以上			B4) 着目外事故 着目外の 事故件数増加 ○：着目外事故 非増加 ×：着目外事故 増加			B1~B4 全てに該当 ○：該当 ×：非該当			
事故	静岡	22-106285K	22-K006285-000	富士宮市農々木町113(登山道入口交差点)	H22	H26	経過観察	H17-H20	R02-R05	63	18	-71%	1,055.3	349.4	-67%	×	○	○	過失	43件/4年	14件/4年	-67%	○	15.8件/年	5.5件/年	-65%	○	○	経過観察	経過観察
事故	静岡	22-106098K	22-K006098-000	清水区中之郷3-5-40(中之郷交差点)	H22	H28	対策完了(2年目)	H17-H20	R02-R05	28	11	-61%	436.8	221.4	-49%	○	○	○	過失	13件/4年	4件/4年	-69%	○	7.0件/年	1.5件/年	-79%	○	○	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-012238T	22-T091999-000 22-T091896-000	富士市伝法2448~園久保3-8-16	H22	H29	経過観察	H17-H20	R02-R05	23	6	-74%	314.1	271.7	-13%	○	○	○	過失	17件/4年	8件/4年	-53%	○	5.8件/年	3.5件/年	-39%	○	○	対策完了	対策完了(1年目)
事故	静岡	22-106891K	22-K006891-000	富士宮市外神2219~北山5313(外神交差点)	H22	H30	対策完了(1年目)	H17-H20	R02-R05	25	12	-52%	1,015.6	233.0	-77%	○	○	○	過失	14件/4年	0件/4年	-100%	○	6.3件/年	0.5件/年	-92%	○	○	対策完了	対策完了(2年目)
事故	静岡	22-106141K	22-K006141-000	葵区東瀬名町2-26(瀬名IC交差点)	H22	H30	対策完了(1年目)	H17-H20	R02-R05	22	11	-50%	1,545.2	0.0	-100%	○	○	○	過失	8件/4年	4件/4年	-50%	○	5.5件/年	3.0件/年	-45%	○	○	対策完了	対策完了(2年目)
事故	静岡	2-K04094-00	22-K004094-000	富士市緑町1丁目12-18(青島交差点)	H28	R1	新規評価	H23-H26	R02-R05	17	9	-47%	531.6	464.6	-13%	○	○	○	過失	5件/4年	2件/4年	-60%	○	4.0件/年	0.0件/年	-100%	○	○	対策完了	対策完了(1年目)
事故	静岡	2-K08226-00	22-K008226-000	富士市緑町1丁目1-12(緑町交差点)	H28	R1	新規評価	H23-H26	R02-R05	21	7	-67%	656.7	361.4	-45%	○	○	×	過失	5件/4年	6件/4年	+20%	○	5.0件/年	1.5件/年	-70%	○	×	対策完了	対策完了(1年目)
事故	静岡	2-K04076-00	22-K004076-000	富士市永田北町1-6(交差点名なし)	H28	R1	新規評価	H23-H26	R02-R05	16	4	-75%	500.3	206.5	-59%	○	○	○	過失	9件/4年	2件/4年	-78%	○	3.8件/年	1.5件/年	-60%	○	○	対策完了	対策完了(1年目)
事故	沼津	22-106319K	22-K006319-000	御殿場市神山1571(免鳥交差点)	H22	H20	経過観察	H17-H20	R02-R05	38	15	-61%	444.9	305.9	-31%	○	○	○	過失	28件/4年	10件/4年	-62%	○	9.5件/年	4.0件/年	-58%	○	○	対策完了	対策完了(1年目)
事故	浜松	22-106990K	22-T088322-200 22-T088590-200	島田市島880-1(大代IC)	H25	H27	経過観察	H19-H22	R02-R05	6	5	-17%	122.9	142.8	+16%	○	×	×	過失	4件/4年	9件/4年	+125%	×	1.5件/年	2.0件/年	+33%	○	×	経過観察 近年の事故件数が対策前 と比較し増加しているため	経過観察
事故	浜松	2-K05688-00	22-K005688-000	静岡県浜松市南区飯田町271-1(交差点名なし)	H28	H29	対策完了(2年目)	H23-H26	R02-R05	19	7	-63%	303.1	124.6	-59%	○	○	○	右折	7件/4年	0件/4年	-100%	○	4.8件/年	0.5件/年	-89%	○	○	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了



対策済み区間に対する効果評価

③効果評価の結果 -地域の声等に基づく選定区間- (14区間)

- 地域の声等に基づく選定区間では、R5～R7の効果評価が3年連続「対策完了」となる区間は3区間あり、「事業完了」により事故ゼロプランから除外する。
- 「追加対策候補」となる区間は1区間あり、追加対策の実施要否判断により追加対策検討区間と評価した。
- 残る10区間は「対策完了（1年目または2年目）」となり、次年度も効果評価を行う。

箇所概要					効果評価				
選定理由	事務所	新区間番号	区間名	対策実施年	R4 効果評価	R5 効果評価	R6 効果評価	R7 効果評価	R7 効果評価結果
意見	静岡	22-K006290-000	富士宮市富士見ヶ丘415番地(舞々木町交差点)	H29		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	静岡	22-K003750-000	清水区横砂中町16番地(横砂交差点)	H29		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	静岡	22-K003702-000	清水区江尻東1-2-33(江尻東交差点)	H30			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-K006059-000	葵区吉野町5-12(吉野町西交差点)	H30			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-T066237-000	葵区栄町～黒金町(日出町交差点)	H30			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-K003696-000	静岡市清水区元城町1番地(交差点名なし)	H30			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-T012281-000	静岡市駿河区丸子新田331番地～手越原129番地	H30			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-T062194-000	静岡市駿河区丸子7丁目8番地～11番地	H30			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-K003496-000	葵区東町36番地(東町交差点)	H30			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-K006302-000	富士宮市小泉1190(東高前交差点)	R1				対策完了	対策完了(1年目)
意見	沼津	22-K006361-000	御殿場市塚原837(塚原交差点)	H28	経過観察	対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	沼津	22-K006329-000	御殿場市神場1216(矢場居交差点)	H29		経過観察	対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	沼津	22-T092124-200 22-T092253-100 22-T092123-200 22-T092254-100	三島市錦が丘付近	R1				追加対策候補	追加対策検討区間
意見	浜松	22-K007193-200 22-K007193-100	浜松市中央区篠原町22208(篠原IC)	H26	経過観察	経過観察	対策完了	対策完了	対策完了(2年目)

4

対策済み区間に対する効果評価

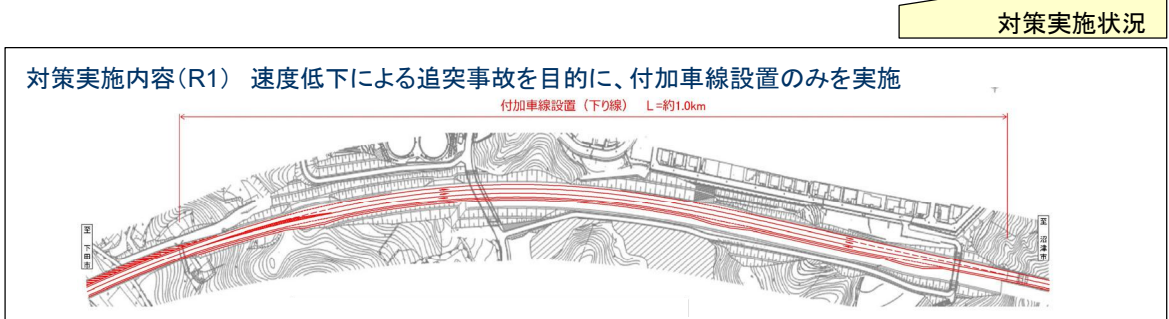
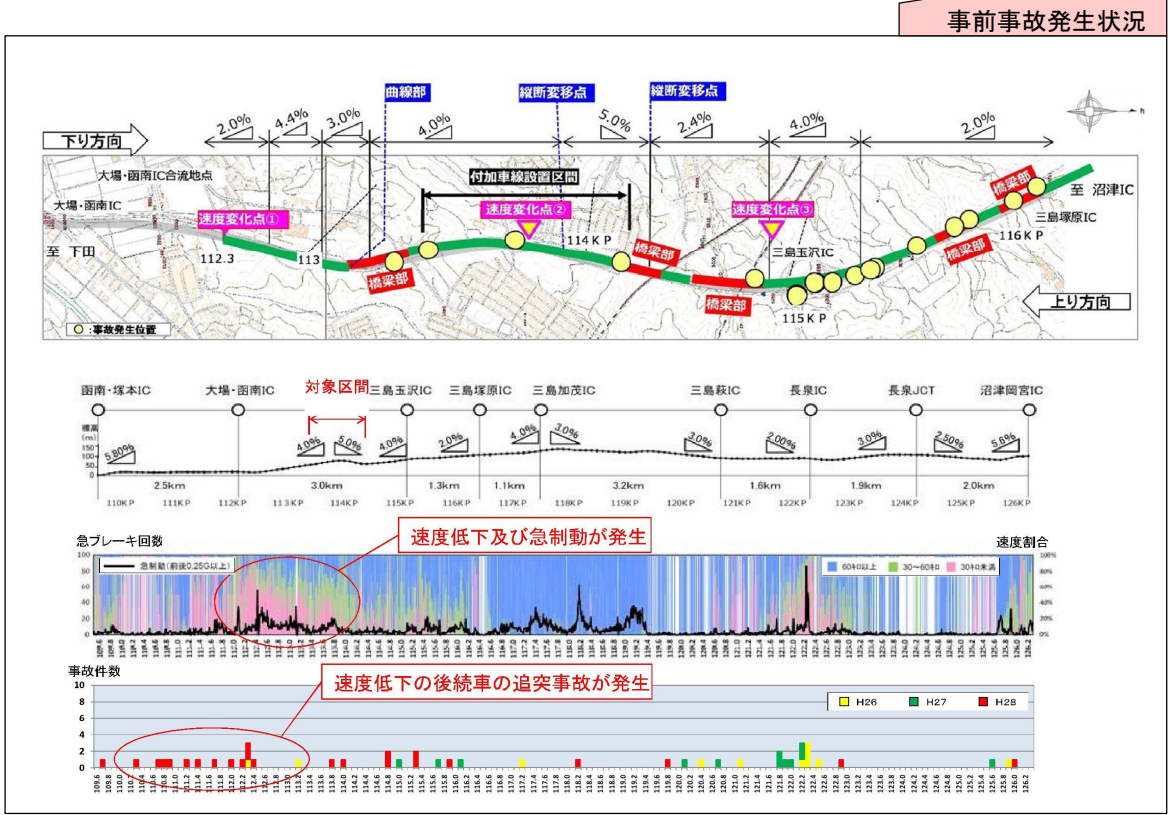
参考資料

④追加対策の要否判断 追加対策候補区間の一覧（静岡県ALL）

担当事務所名	市区町村名	路線名	単路/ 交差点	対象区間・地先名	事故危険区間 選定年度	対策 実施年度	効果 評価	事故データに 基づく選定	地域の声等に 基づく選定	追加対策 実施要否判断
沼津河川国道事務所	三島市	国道1号 東駿河湾環状 道路	単路	三島市錦が丘付近	H29	R1	R7		●	追加対策検討区間

C 追加対策候補区間（三島市錦が丘付近）

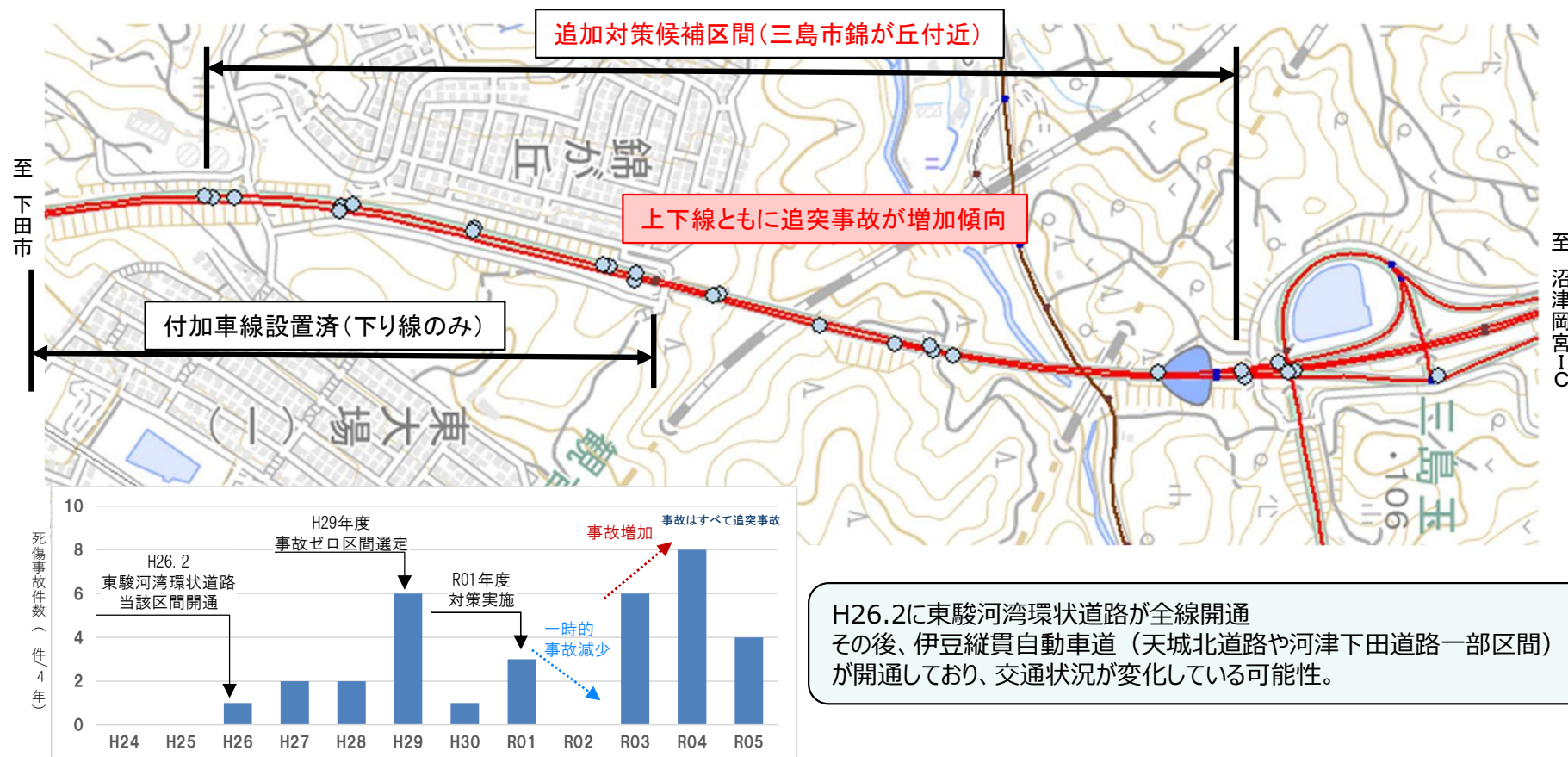
国道1号 三島市錦が丘付近 (R1対策)	
選定理由：地域の声等に基づく選定	
事故増減	①死傷事故件数 選定時：1件/4年 (H24-H27) 評価時：18件/4年 (R02-R05) 増加
	①全体判定（事故件数3割抑止）： 1件/4年→18件/4年（1700%増加）
	②着目事故判定（事故件数3割抑止）： （追突）1件/4年→18件/4年（増加）
効果判定	③潜在的危険度（ETC2.0判定）： 前後加速度, 左右加速度, ヨー角速度 3指標とも基準値未満



○：効果評価基準達成
 ×：効果評価基準未達成

C 追加対策候補区間（三島市錦が丘付近）

- ・付加車線対策の実施後は一時的に事故件数が減少したが、直近3年（R03～R05）で追突事故が増加。
- ・追突注意の喚起対策などの交通安全対策を検討する。



H26.2に東駿河湾環状道路が全線開通
その後、伊豆縦貫自動車道（天城北道路や河津下田道路一部区間）
が開通しており、交通状況が変化している可能性。

【追加対策】

- ・注意喚起対策の実施等を検討。

①事故ゼロプラン新規追加区間の一覧

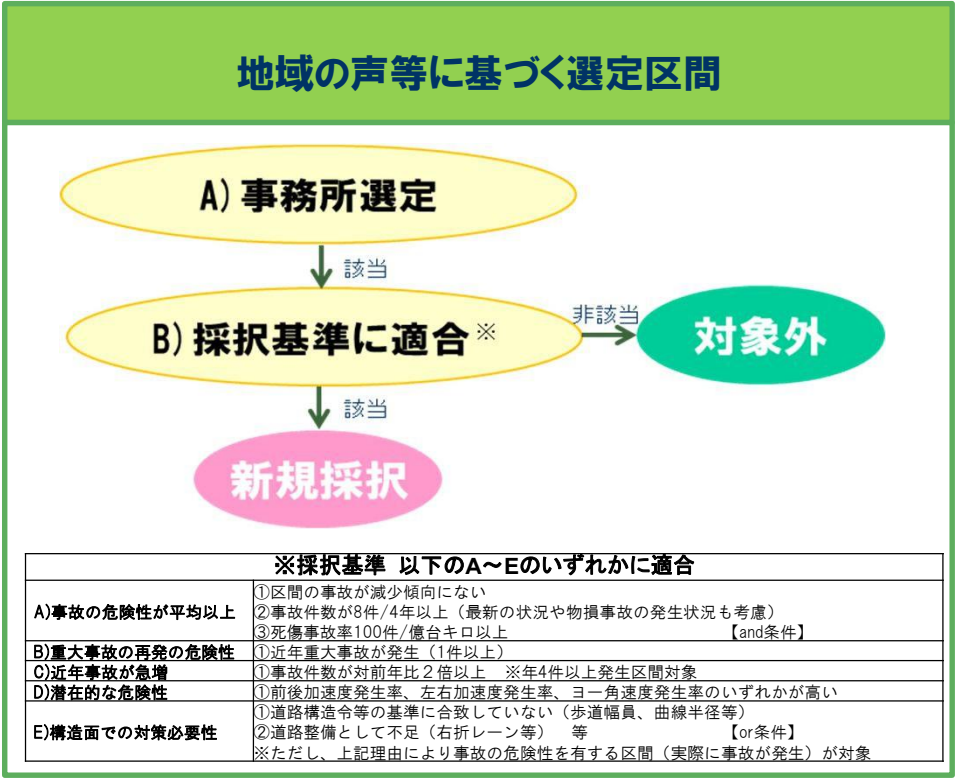
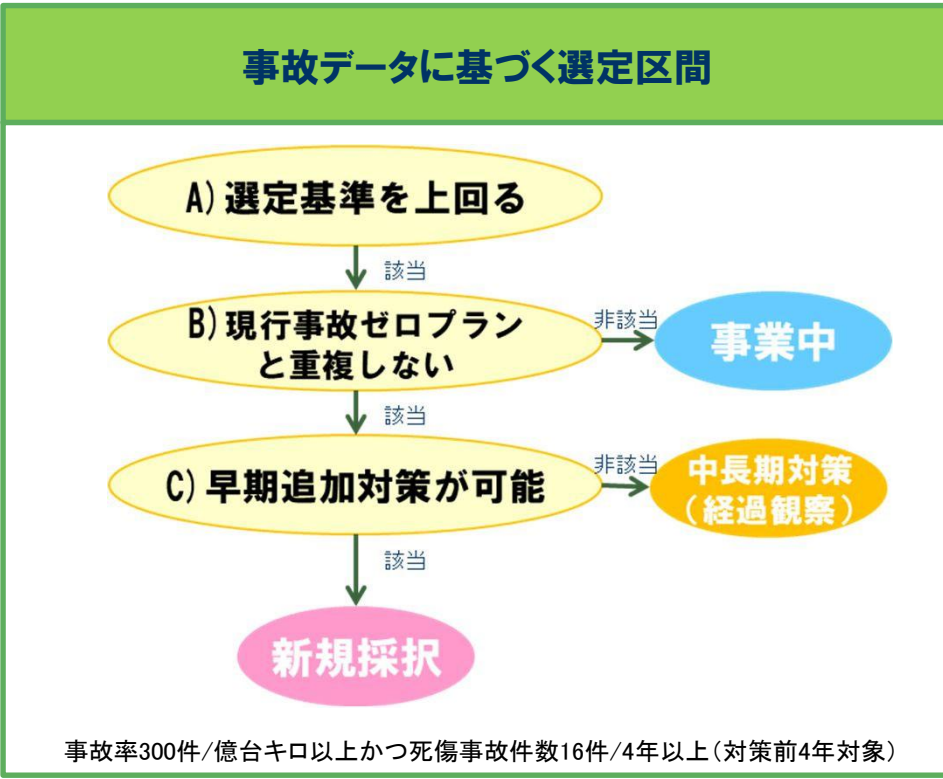
- 「事故データに基づく選定区間」として4区間を選定。
※今年度は「地域の声等に基づく選定区間」は選定無し。

選定基準：死傷事故件数16件/4年以上かつ死傷事故率300件/億台キロ以上に該当

事務所名	イタルダ区間番号	交差点 単路別	市町村名	箇所名	路線番号	キロ程		R2-R5 死傷事故件数 (件/4年)	R2-R5 死傷事故率 (件/億台キロ)	事故データに 基づく抽出	地域の声等に 基づく抽出	備考
						交差点:中心 単路:起点	単路:終点					
静岡 国道事務所	22-K006145- 000	交差点	静岡市	静岡市清水区七ツ新屋414(七ツ新屋交差点)	国道1号	173.9	-	16	322.0	●		
静岡 国道事務所	22-K006083- 000	交差点	静岡市	静岡市葵区古庄1-1-1(古庄交差点)	国道1号	177.4	-	21	422.6	●		
浜松河川 国道事務所	22-K005677- 000	交差点	浜松市	浜松市中央区飯田町(下飯田北交差点)	国道1号 浜松BP	254.6	-	31	551.8	●		
浜松河川 国道事務所	22-K061283- 100	交差点	掛川市	掛川市領家(領家交差点東側・側道合流部)	国道1号 袋井BP	232.9	-	17	405.6	●		

②事故ゼロプラン新規追加区間の採択基準

【事故ゼロプランの新規採択基準】



●新規追加区間 静岡国道事務所 国道1号 ^{ななつしんや}七ツ新屋交差点



国道1号 七ツ新屋交差点

イタルダ区間番号:22-K006145-000

- 当該区間は死傷事故件数16件/4年(R2～R5事故)の交通事故が発生している。
- 北側の交差道路は静清BP長崎ICへ接続しており、停止線付近での追突事故の他、交差点付近での右左折事故が多発している。
- 下り線では長崎IC方面へ向かう右折車両が右折車線からはみ出す状況が確認されており、今後も事故発生の高リスクが高い区間である。
- 利用者意見収集では、交差点手前の渋滞回避に起因した急な車線変更に危険を感じたとの意見を収集している。



写真1



写真2

国道1号 七ツ新屋交差点

①選定理由：事故データに基づく抽出

②事故件数の経年変化



③死傷事故件数： 16件/4年

④死傷事故率： 322.0件/億台[※]

出典：地理院地図(電子国土Web:国土地理院)(<http://www.gsi.go.jp/>)

※ITARDA事故別(R2～R5)データより

●新規追加区間 静岡国道事務所 国道1号 古庄交差点ふるしょう



イタリアダ区間番号:22-K006083-000

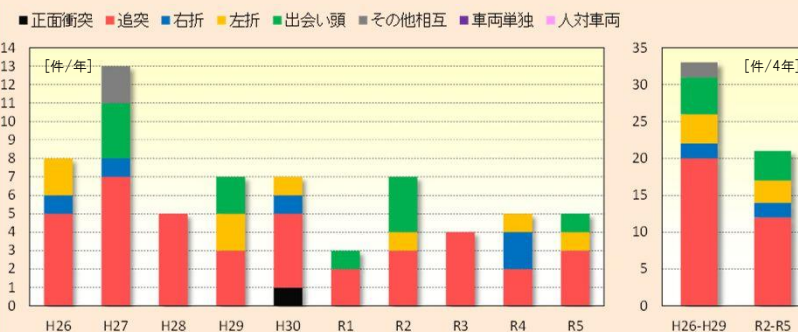
- 当該区間は死傷事故件数21件/4年(R2～R5事故)の交通事故が発生している。
- 交差点の200m西側には長沼交差点（主要渋滞箇所）が存在しており、下り線では停止線手前の追突事故が多発している。
- 長沼交差点を先頭とした渋滞が隣接する当該交差点まで影響しており、今後も追突事故発生リスクが高い区間である。
- 利用者意見収集では、交差市道を通る車両と国道1号への流入する車両の干渉が生じ、危険を感じたとの意見を収集している。



国道1号 古庄交差点

①選定理由：事故データに基づく抽出

②事故件数の経年変化



③死傷事故件数： 21件/4年

④死傷事故率： 422.6件/億台[※]

※ITARDA事故別(R2～R5)データより

出典：地理院地図(電子国土Web:国土地理院)(<http://www.gsi.go.jp/>)

新規追加区間 浜松河川国道事務所 国道1号 浜松BP 下飯田北交差点
 しもいいだきた


イタルダ区間番号:22-K005677-000

- 当該区間は死傷事故件数31件/4年(R2~R5事故)の交通事故が発生している。
- 上り線は右折車線がセパレートされている一方で下り線は右折自体が禁止されている。下り線の停止線付近に追突事故が集中している。
- 令和2年以降から追突事故が増加傾向にあり対策も実施していないため、今後も事故の発生リスクが高い区間である。
- 令和7年度に実施した利用者意見収集では、信号の変わり目での強引な進入等により危険を感じたとの意見を収集している。

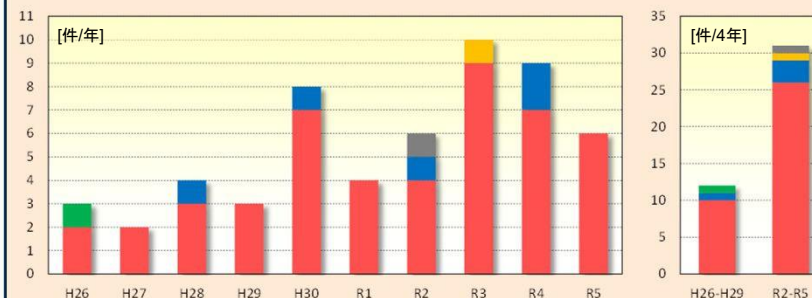


国道1号 浜松BP 下飯田北交差点

①選定理由：事故データに基づく抽出

②事故件数の経年変化

■正面衝突 ■追突 ■右折 ■左折 ■出会い頭 ■その他相互 ■車両単独 ■人対車両



③死傷事故件数： 31件/4年

 ④死傷事故率： 551.8件/億台*_口

 出典：地理院地図(電子国土Web:国土地理院)(<http://www.gsi.go.jp/>)

※ITARDA事故別(R2~R5)データより

④事故ゼロプラン新規追加区間 位置図

- 事故データに基づく選定区間 4区間
- 地域の声等に基づく選定区間 0区間

